

創世記8 創世記3章14節～24節

「アダム契約」

イントロ：

1. 前回までの復習

- (1) 創世記には11の区分(トルドット)がある。
- (2) 第1のトルドットには、人類の墮落とエデンの園からの追放が書かれている。
- (3) 第1のトルドットが終わりには、「非常によかった」ものがカオスになっている。
- (4) 墮落以降、神と人類の関係が変化していることに注目
 - ①最初の契約は、エデン契約(条件付契約)。
 - ②墮落後は、アダム契約が結ばれる(無条件契約)。
- (5) 創世記の記事は、神話や伝承ではなく歴史的事実である。

2. メッセージのアウトライン

- (1) 前半：アダム契約
 - ①蛇に対して
 - ②サタンに対して
 - ③女に対して
 - ④アダムに対して
- (2) 後半：エデンの園からの追放
 - ①エバという名前
 - ②皮の衣
 - ③追放劇

3. きょうのメッセージは、私たちに何を教えているか。

(例話) エジプト入国の際に、カメラを持ち込むことができなかった話。

- (1) 私たちは何を失ったのか。
- (2) 私たちは何を回復しようとしているのか。
- (3) 私たちはどのような方法で、失ったものを回復しようとしているのか。

きょうのメッセージは、3つの疑問(2つの what と 1つの how)に答えようとするものである。

I. アダム契約(3:14～19)

1. 蛇に対して (14 節)

(1) サタンに悪用された。

①通常は、動物には道徳的責任はない。

②しかし、人間に対して害をもたらした場合はその結果が降りかかる。

創世記9：5、出エジプト21：28

(2) 人の墮落によって動物界に呪いが及んだ。

(3) しかし、蛇は、あらゆる家畜、あらゆる野の獣よりも呪われた。

①腹ばいで歩く。その前は立って移動していた。足があったかどうかは、分からない。

②ちりを食べる。命令ではなく、宣言である。

③蛇はちりを食べない。これは、比喩的表現。

*呪われた状態(千年王国においても) イザヤ65：25、ミカ7：17

*敗北した敵 詩篇72：9、イザヤ49：23

2. サタンに対して (15 節)

(1) この聖句を「原福音」と呼ぶ。

(2) サタンと女の間には敵意を置く。

①神がそれを置く。神がその原因を作るということ。

②メシアは女から誕生するので、サタンと女の間には確執が存在するようになる。

(3) おまえの子孫と女の子孫の間には敵意を置く。

①「女の子孫」：この言葉は、最初のメシア預言。

*系図は普通男性のラインをたどるのに、なぜ「女の子孫」と呼ばれるのか。

*イザヤ7：14になって初めて分かる。

*超自然的な誕生。人間の父親のいない誕生。

*サタンは、人間の女たちを汚そうとする。創世記6：1～4

②「おまえの子孫」：サタンの子孫。反キリストのこと。

*同じ節に出てくるので、「子孫」の意味は同じ。超自然的な誕生。

*ダニエル9：26～27では、「やがて来るべき君主の民」となっている。

*ローマ系の婦人から誕生するある人物。

(4) 彼は、おまえの頭を踏みくだく。

①十字架の死と復活。すでに成就した事実。ヘブル2：14～18

②将来成就する出来事。ローマ16：20、黙示録20：10

(5) おまえは、彼のかかとかみつく。

①痛いけど致命的ではない。

②十字架の死のこと。

3. 女に対して (16 節)

(1) 「大いに増す」と言われるものが、2つある。

①月経の痛み (墮落の前にはなかった)

②みごもりの能力 (月に一度の月経のサイクル)

* 死の現実が入ってきたために、出産能力を増す必要がある。

(2) 苦しんで子を産む。

①墮落の前は、痛みのない出産があったことになる。

②この苦しみの中には、流産も含まれるだろう。

③恵みの要素は残されている。

* ヨハネ 16 : 21 出産後の喜び

* I テモテ 2 : 15 男性よりも下位であるとの認識からの解放。人類存続の要。

(3) 夫を恋い慕う。

①タシュカーという動詞 (旧約聖書に3回しか出て来ない)

②創世記 4 : 7 「罪はあなたを恋い慕っている」

③雅歌 7 : 11 「あの方は私を恋い慕う」

④ここでは、創世記 4 : 7と同じ意味。支配する、統治する。

* 助け手として造られた女が、夫に反抗し、夫を支配したくなる。

* 罪がカインを支配しようとするがごとくに。

(4) 夫は女を支配する。

①マシヤルという動詞。支配、統治。

②愛の関係で頭としての役割を果たすことではない。

③女は男を罪へといざなった。その結果、女は男に支配されるようになった。

4. 男に対して (17~19 節)

(1) アダムは、アダムの契約の当事者 (人類の代表)。

①彼は、頭としての使命に違反した (妻の声に聞き従った)。

②彼は、神の命令に違反して、禁断の木の実を食べた。

③現在の人間の問題は、アダムに責任がある。

(2) 土地がのろわれた。

①人の支配下にあった土地が呪われた (聖書の原則)。

②労働の苦痛。

* いばらとあざみは、呪いの象徴。

* サタンの裁きは、サタンの支配下にあったものの呪いにつながった。

*アダムの裁きは、アダムの支配下にあったものの呪いにつながった。

ローマ8：20～23 自然界のうめき

(3) 食事

①野の草を食べる(この段階でも肉食主義)。

②ノア契約で、肉食が許可される。

③動物に関しては分からない。

(4) 労働の苦勞

①エデン契約では、労働は容易。

②墮落以降、額に汗を流す労働。

(5) エデン契約に違反したので、靈的な死が確定。

(6) アダム契約で、肉体的な死が宣言された。

①土(ちり)に帰る。ヨブ4：19、34：15、詩篇104：14、29、伝道3：20、12：7

②ローマ5：12～21、Iコリント15：20～23

④例外は、エノクとエリヤのみ。将来の例外は、携挙の時の聖徒たち。

II. エデンの園からの追放(創世記3：20～24)

1. エバという名前

(1) 墮落の前は、イシャー(女)

(2) ここでは、ハヴァー(エバ)

①命という意味

②アダムの女の上に權威をふるい、命名した。

③アダムは、創世記3：15を信じた。

④「それは、彼女がすべて生きているものの母であったからである」

*「ハヤー」生きる。「ハイ」生きているもの。

*まだエバは子を生んでいない。完了形、預言的完了形。

*地に広がることは、今も有効な命令。

⑤ヘブル語が最初の言語であることが分かる。

2. 皮の衣

(1) 動物の命を殺して取るもの。神が用意したもの。

(2) 血が流れる。アダムとエバは初めて死を目撃し、自分たちの死を予感した。

(3) 血の犠牲の最初のもの。裁きの中に恵みの要素がある。

- (4) いちじくの葉から皮の衣へ
- (5) 霊的な教訓
 - ①神に近づくためには、それにふさわしい被いが必要である。
 - ②人間が作った被いでは不十分。
 - ③神ご自身が用意されたものでなければならない。
 - ④ふさわしい被いは、血を流すことによって得られる。
 - ⑤追放の前に、被いが用意されている。

3. 園からの追放

- (1) 追放の理由：人は神のようになった。自分で選ぶ。
- (2) 三位一体の神：「われわれのように」
- (3) 永遠に生きるとは、罪の状態で生き続けること。
- (4) その危険性を避けるために、園から追放される。
- (5) 人は土を耕すようになった。
- (6) 追放の2面性
 - ①地理的追放
 - ②霊的追放 シャカイナグローリーとの交わりの喪失
- (7) 園の見張り役
 - ①園の入り口は、東側。幕屋と同じ。
 - ②ケルビム(天使)と、「輪を描いて回る剣」(シャカイナグローリー)
 - ③いのちの木への道を守る。
 - ④シャカイナグローリーは、彼らを遠ざける役割を果たした。
 - ⑤この状態は、ノアの洪水まで続いた。

結論

- 1. 私たちが失ったものは、シャカイナグローリーの中での神との交わり。
- 2. 私たちが回復しようとしているものは、シャカイナグローリーの中で永遠に住まうこと。
- 3. 回復への道は、神が用意されたものでなければならない。
 - (1) 皮の衣
 - (2) 婚礼の礼服 マタイ 22 : 11
 - (3) 白い衣 黙示録 7 : 9 ~ 10
- 4. ペテロの宣言 使徒 4 : 12

「この方以外には、だれによっても救いはありません。天の下でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名は人に与えられていないからです」